



事務所で執筆する「NEWSつくば」のライター＝つくば市吾妻

NPPOは今年8月、常陽新聞の元記者らが理事となり立ち上げた。主な事業内容は、地域ニュースのネット発信▽地域イベント・プロジェクトの展開▽地域メディアの在り方の調査研究など。常陽新聞紙面のデータベース化や、地域FMとの連携も進めるといふ。

10月1日のスタート時点で元記者7人が活動し、毎日3〜5本の地域ニュースをウェブサイトに掲載する。外部執筆者のコラムも掲載。閲覧は無料。

NPPOは法人と個人の会員を募り、当面は会費収入を運営費に充てる。

27日、筑波学院大で会見した旧常陽新聞社の元社長でNPPO理事長の坂本栄之

つくば・土浦

地域情報ネットで配信

地域紙元記者らNPPO設立

つくば、土浦両市の地域ニュースや情報をインターネットのウェブサイトで発信しようと、NPPO法人「NEWSつくば」がつくば市に設立され、10月1日から始動する。両市をエリアに日刊紙を発行し、今年3月に休刊した地域紙「常陽新聞」の元記者らがライターとなり記事を配信する。筑波学院大（同市吾妻）がNPPOと連携協定を結び、学内の部屋を無償提供して協力するほか、公開講座の講師に元記者を招く。

んは「常陽新聞休刊後も市民の間から地域情報を求める声が増えており、これに応えた。ローカルに徹したニュースを発信したい」と話した。同席した同大の大島慎子学長は「公開講座には学生も参加し、学ぶことができる」と期待した。

ウェブサイトは <https://news-tsukuba.jp/>

（綿引正雄）